かちまいスポーツ
写真がほしい▼0120・25・9410　ファクス▼0155・25・2700
著作権などにより販売できない写真もあります　Eメール▼sports@kachimai.co.jp

全国高校選抜　北北海道予選

バドミントン

帯大谷女子 連覇

バドミントンの第55回道高校新人大会兼第51回全国高校選抜大会北北海道予選会第2日は20日、よつ葉アリーナ十勝で男女の団体戦（学校対抗）決勝と個人戦（個人対抗）ダブルス（複）の1回戦から決勝まで、シングルス（単）の1回戦を行った。団体戦は帯大谷女子が決勝で旭川実を3―1で下し、2連覇を達成。優勝校に与えられる全国大会（岩手県花巻市・3月24～28日）の切符を手にした。帯大谷男子は旭川実に2―3で惜敗し、3大会ぶりの優勝を逃した。個人戦男子複は帯大谷の松本悠汰・濱下虎哲組（2年）が優勝を果たし、3位は澤沼蒼太郎・武下佳司組（帯柏葉2年）、野崎逸斗・菅野愛都組（帯大谷同）。女子複は帯大谷の木村百華（2年）・上山怜来（1年）組、江口碧（2年）・石原綾弓（1年）組が3位だった。※個人戦単複の詳報は後日掲載。（小野寺俊之介）

団体戦2連覇を果たし、全国出場を決めた帯大谷女子

エースペア意地

経験糧に全国へ

帯大谷女子が堂々の2連覇。優勝候補の本命と目される中、準決勝では同ブロックの難敵旭川商を苦戦しながらも下し、決勝はライバル旭川実に競り勝った。木村百華主将は「（帯広開催で）多くの（地元の）人が運営に関わってくれていて、負けるわけにはいかなかった。優勝できてほっとしている」と喜んだ。

3面同時スタートの決勝戦。初めに歓声を上げたのは2―0で勝利した第2ダブルス（複）の木村・上山怜来組（2年・1年）。冷静な試合運びが光った。木村が後衛、上山が前衛で攻めるのが得意パターンだが、劣勢の場面では横並びの守備的な陣形で耐えた。「2人でラリーをつなげてよく我慢した」（木村）と得点を重ねた。

江口碧・石原綾弓組（2年・1年）の第1複は実力の均衡するエースペア同士が熱戦。前回の対戦でもフルセットにもつれたといい、「楽には勝てない。きちんとラリーをしよう」（江口）。流れをつかめなかった第1ゲームこそ落としたが、それ以降は石原のスマッシュやカット、江口のネット際でのショットがさえて2―1の逆転勝ち。「ダブルスで二つ取れれば気が楽。私たちが負けるわけにはいかない」（石原）とエースの意地を見せた。

第1シングルス（単）の片山咲弥（1年）はシャトルが空調の影響を受けやすいコートで苦戦。後がない第2ゲームで追い上げるもわずかに及ばなかった。昨年10月にチーム事情から単に転向、経験は浅いが「チームの力になれるように練習を重ねたい」。2勝1敗。勝利を託された第2単の江口、第3単の石原は共に試合を優位に進行、石原の3勝目で全国切符を手中にした。

チームの目標は過去最高の高校総体16強。「インターハイに向けて選抜は貴重な経験になる」と木村主将。全国選抜大会でチームの現在地を確認し、あとは目標へまっしぐらだ。

【女子団体戦決勝・帯大谷―旭川実】エースダブルス対決を制し、笑顔を見せる（左から）石原綾弓、江口碧組

帯大谷男子 準V

【男子団体戦決勝・帯大谷―旭川実】第1シングルスで勝ち星を挙げた菅原一聡。ラリー戦で粘り強く戦った

複2組惜敗も　菅原が気迫の勝利

帯大谷男子は決勝で旭川実に2―3で惜敗。3大会ぶりの優勝にはわずかに届かなかった。「勝てる世代とずっと言われてて…。先輩たちにもたくさん練習に付き合ってもらったのに申し訳ない」。濱下虎哲主将は言葉少なに振り返った。

第1ダブルス（複）の濱下・松本悠汰組（2年）は3ゲームともジュース決着の大接戦。1―1で迎えた最終ゲームも粘りを見せたが「相手の土俵（のドライブ戦）で戦い過ぎた」と逆転を許した。第2複の菅野愛都・野崎逸斗組（2年）も21―19、21―18と僅差で敗れた。第1シングルス（単）は菅原一聡（同）が「声を出して気持ちでは負けないように」と気迫を前面に出してプレー。長いラリーをことごとく制し、ストレート勝ちを収めた。

相澤俊彰監督は「今のままではインターハイ出場も難しい。前向きさや自主性など苦しい場面で普段の取り組みが出る」と精神面の課題を指摘。主力に2年生5人をそろえ、個人の能力は高い。あとはどんな場面でも堂々とプレーできる精神的強さが求められる。

「インターハイの道予選も必ず旭実と当たる。次こそは勝つ」（濱下主将）。悔しさをバネに雪辱を誓った。

【女子団体戦決勝・帯大谷―旭川実】ネット前で積極的に攻める上山怜来（右）、木村百華主将（左）組。貴重な1勝を挙げチームに勢いをもたらした

男子団体準優勝の帯大谷

◇帯大谷女子
▽監督＝入江優喜
▽コーチ＝阿部修久
▽マネジャー＝寺島陸福
▽選手＝木村百華主将、長谷川莉奈、江口碧＝以上2年、石原綾弓、片山咲弥、上山怜来、及川沙来杏＝以上1年

◇帯大谷男子
▽監督＝相澤俊彰
▽コーチ＝成田佑二
▽マネジャー＝佐藤蓮
▽選手＝濱下虎哲主将、松本悠汰、野崎逸斗、菅野愛都、菅原一聡＝以上2年、田部時生、海野総太郎＝以上1年

【男子】
◇団体戦▽決勝（20日、決勝以外関係分）
旭川実 3―2 帯大谷
○渡部蓮・芹澤侑哩 2（24―22、24―22）1 濱下虎哲・松本悠汰
○森山稀生・倉大起 2（21―18、21―19）0 菅野愛都・野崎逸斗
○渡部蓮 2（21―12、21―12）0 菅原一聡
太川田光 0（20―23、20―22）2 野崎逸斗
◇個人戦ダブルス▽1回戦
中塩爽太 0（8―21、17―21）2 松本悠汰
澤沼蒼太郎・武下佳司（帯柏葉） 2―0 深尾柊真・菊池大翔（岩見沢農）
▽2回戦
森山稀生・鎌倉大起（旭川実） 2―0 平岡大馳・山下諒真（帯緑陽）
渡部蓮・芹澤侑哩（旭川実） 2―0 下廉次郎・津村凌生（帯柏葉）
菊池蓮・北優人（帯三条） 2―0 北條季桜・佐藤虎生（深川西）
西岡海璃・西澤諒人（稚内大谷） 2―0 海野総太郎・三本木蓮（帯大谷）
▽2回戦
松本悠汰・濱下虎哲（帯大谷） 2―0 村元大記・若澤拓哉（岩見沢西）
澤沼・武下 2―1 渡部竜士・対木一輝（白糠）
野崎逸斗・菅野愛都（帯大谷） 2―0 赤川隼斗・清水遥（武修館）
菊池・北 2―0 齊藤永心・対木隼祐（白糠）
▽準々決勝
松本・濱下 2―0 井上晴道・澤田琉聖（旭川龍谷）
澤沼・武下 2―0 森山・鎌倉（旭川実）
野崎・菅野 2―0 渡部・芹澤
川田光太・中塩爽太（旭川実） 2―0 菊池・北
▽準決勝
松本・濱下 2（21―11、21―16）0 川田・中
澤沼・武下 2（21―18、11―19）0 菅野愛都・野崎逸斗
▽決勝
松本・濱下 2（21―11、21―16）0 塩川田・中
川田・中 2（21―13、18―19）1 野崎・菅原一聡
◇個人戦シングルス▽1回戦
菊池蓮（帯三条） 2―0 深尾柊真（岩見沢農）
中塩爽太（旭川実） 2―0 菅野愛都（帯大谷）
武下佳司（帯柏葉） 2―0 橋向竜生（稚内大谷）
澤沼蒼太郎（帯柏葉） 2―0 安楽玄梧（稚内大谷）
▽2回戦
石田朱里・武下亜美（帯南商） 2―0 木村百華・長谷川莉奈（帯大谷）
森小羽・砂山萌（帯南商） 2―0 長谷川莉奈・及川沙来杏（帯大谷）
松浦日菜乃・吉田莉麻（旭川実） 2―0 石田・武下
◇個人戦ダブルス▽1回戦
○石原綾弓 2（21―12、21―15）0 松浦日菜乃
○華村百山・上山怜来 2（21―13、17―17）0 那上優藤鼓柊佐藤
○江口碧・石原綾弓 2（21―19、17―21）1 吉田莉麻・田松浦日菜乃
◇団体戦▽決勝
帯大谷 3―1 旭川実
野崎逸斗（帯大谷） 2―0 高橋孝太郎（旭川工）
濱下虎哲（帯大谷） 2―0 志水陸人（岩見沢緑陵）

【女子】
◇団体戦▽決勝
帯大谷 3―1 旭川実
○石原綾弓 2（21―12、21―15）0 松浦日菜乃
○江口碧・石原綾弓 2（21―13、17―21）0 那上優藤鼓柊佐藤
○木村百華・上山怜来 2（21―19、18―21）1 吉田莉麻・田松浦日菜乃
◇個人戦ダブルス▽1回戦
石田朱里・武下亜美（帯南商） 2―0 中村樹香・山彩名（滝川西）
木村百華・上山怜来（帯大谷） 2―0 原田真衣・河原愛菜（岩見沢東）
上木美亜・須山友（稚内大谷） 2―0 大久保百佳・船木優花（帯緑陽）
森小羽・砂山萌（帯南商） 2―0 野間琴葉・池邊心羽（釧路明輝）
長谷川莉奈・及川沙来杏（帯大谷） 2―0 江刺心愛・山崎乃々詩（旭川南）
江口碧・石原綾弓（帯大谷） 2―0 五井夏楓・山下恋珀（滝川西）
長谷川・及川 2―0 森・砂山
井上紗彩・中島優衣奈（旭川商） 2―0 新関優芽・星野紗花（旭川南）
▽準々決勝
木村・上山 2―0 大坂・小國三上優那・佐藤鼓柊（旭川実）
江口・石原 2―0 長谷川・及川
井上・中島 2―0 木村・上山
▽準決勝
松浦・吉田 2（21―19、21―19）0 木村・上山
井上・中島 2（22―20、21―19）1 江口・石原
▽決勝
井上・中島 2―1 松浦・吉田
砂山萌（帯南商） 2―0 西内璃子（標茶）
木村百華（帯大谷） 2―0 上野舞綾（根室）
片山咲弥（帯大谷） 2―0 應矢都和（岩見沢緑陵）
上山怜来（帯大谷） 2―0 須山友（稚内大谷）
武下亜美（帯南商） 2―0 井上玲奈（網走南ケ丘）

社会人アイスホッケー　清水町リーグ

（18日・清水町アイスアリーナ）
◇A級
チームM 4―2 ホシンガンボイズ（13―10、3―4、4―6）
IKAGE
▽得点者【チ】里村5、大澤4、高橋洋2、飯嶋2【ホ】リアンジン3、小井戸3、井川2、山本富、水崎
▽アシスト【チ】大澤6、飯嶋2、高橋洋2、里村【ホ】小井戸2、リアンジン2、松久2、中村2、河瀬
▽反則【チ】1【ホ】2
▽シュート数【チ】33【ホ】40